

発行日：2019年11月25日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(一般財団法人日本花普及センター)



ジャパンフラワーセレクション2019-2020 ガーデニング部門 秋審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、夏から秋にかけて花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する夏秋審査会からの継続品種として3品種の審査を実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時：

秋審査会 2019年10月29日（火）

■開催場所：

千葉大学
環境健康フィールド科学センター
(千葉県柏市)

■審査品種：

ガーデニング部門 秋審査対象3品種
(夏秋審査からの継続観察品種)

■入賞品種：3品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

山本	岳史	豊明花き(株)	企画本部外商部次長（部門長）
尾崎	明弘	(株)オザキフラワーパーク	代表取締役
杉井	志織	はなぐみ	代表
村上	智弘	(株)フラワーオークションジャパン	鉢物部 部長
山口	まり	(一社)日本ハンギングバスケット協会	理事
渡辺	均	千葉大学環境健康フィールド科学センター	教授



<ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

＜JFS2020 冬春、春、夏秋審査会 出品募集中！＞

審査会場：千葉大学環境健康フィールド科学センター
（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■JFS出品対象品種

- ① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種
- ② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）
- ③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

- ① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
- ② 契約により日本における販売代理権を持つ者
（海外で育成された品種も出品可能）

■出品料についてのお知らせ

JFS2020 から出品料と減免対象者の変更を予定しています。決定となるのは2019年末頃となります。決定次第、HPなどで速やかに公開いたします。ご迷惑おかけしますがよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

ポット苗の
ご出品はこちらへ！



▲審査会場（露地花壇・屋根付き施設）の様子



1. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません) ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式 (東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行いました。



ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ・ブリーディング・グッドパフォーマンス・ライフデザイン特別賞 同時受賞]

バラ「トゥルーブルーム レッドキャプテン」高松商事株式会社



7/30撮影

出品者：高松商事株式会社（千葉県）
ホームページ：<http://www.tacoflower.jp/>
育成者：ピン・リン
育成者権者：アルトマンプランツ

審査講評：多少端境期があるものの連続開花性に優れ、常に咲かせていたいと願うユーザーにとって満足度が高く、初心者向きのバラとしても推薦できる。また、ローメンテナンスの利点は、様々やりつくした上級者にこそ便利に使ってもらえるのではないかなという評価もあった。

よく分枝し、シュートも多く株がしっかりしている。

葉色も濃く、花弁も厚い。耐病性に期待できるが、防虫には手を抜かないほうがよい。

品質保証付きで出荷されていることも高評価。ただし、コンテナ植えは、花首が下がるような咲き方となりがち。ガーデンのほうが株が倒れずしっかり立つようになりやすく、魅力が伝わりやすい。

ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ、ブリーディング、グッドパフォーマンス、ライフデザインの複数の特別賞を受賞した。



5/24撮影



9/10撮影



▲2018/10/5
（定植後2日）



▲2018/11/05
（定植後32日）



▲2019/3/15
（定植後162日）



▲2019/4/15
（定植後193日）



▲2019/5/24
（定植後232日）



▲2019/6/25
（定植後264日）



▲2019/7/22
（定植後291日）



▲2019/8/6
（定植後306日）



▲2019/8/19
（定植後319日）



▲2019/9/6
（定植後337日）

ベスト・フラワー（優秀賞）

〔 グッドパフォーマンス・ライフデザイン〕
カラークリエイト特別賞 同時受賞

アルテルナンテラ「リトルロマンス」株式会社 ハクサン



10/29撮影

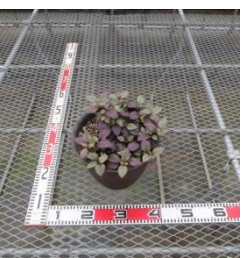
出品者：株式会社ハクサン（愛知県）
ホームページ：www.hakusan1.co.jp
育成者：Ozbreed
育成者権者：J&H Japan
審査講評：高温期はややグリーンに傾いて見えるものの、10月には深い紫色がもどってくる。色変わりもまた楽しみの一つ。日陰での発色もよい。生育旺盛だが、株元が蒸れて枯れ上がることもなくとても強健。また、花がつかないこと、ローメンテナンスでピンチなしでもボリューム感ある形にまとまり、花壇でのパフォーマンスは最高なことから、公共の修景プランツに向くだろう。リーフとして利用するなど、他用途にも期待できそう。
ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス、ライフデザイン、カラークリエイト特別賞の4賞を同時受賞。



10/29撮影



10/29撮影
(露地 1株植え)



▲2019/6/11
(定植後14日)



▲2019/7/12
(定植後45日)



▲2019/8/5
(定植後69日)



▲2019/9/3
(定植後98日)



▲2019/10/16
(定植後141日)



▲2019/5/28 (定植後0日)



▲2019/6/25 (定植後28日)



▲2019/7/26 (定植後59日)



▲2019/8/19 (定植後83日)

モーストジョイ・ニュースタイル・ニューバリュー特別賞 同時受賞

ヘリアンサス「サンビリーバブル ブラウンアイガール」株式会社ハルディン



7/26撮影



7/30撮影



7/30撮影 露地花壇

出品者：株式会社ハルディン（千葉県）
ホームページ：<http://www.jsjardin.co.jp>
育成者：T&M
審査講評：「1000輪も咲く」というユーザーへのアピール力、新規性、実際のパフォーマンス、育て易さ、どれも素晴らしく商品性が高い。

分枝が多く、連続開花性に優れ、落ち着いた色目で、組み合わせを工夫すれば夏以降、秋の花壇でも十分楽しめる。花弁が落ちた後の花がらが目立ちにくく、セルフクリーニング性の高さもうれしい。また花がらのものの姿もかわいらしく印象的。

少し厳しい環境で抑制気味に栽培し、切り戻しのタイミングを工夫すれば、4か月ほどよい状態で楽しめるだろう。

モーストジョイ、ニュースタイル、ニューバリュー特別賞の3賞を同時受賞。



▲2019/5/21（定植後34日）



▲2019/6/11（定植後55日）



▲2019/6/25（定植後69日）



▲2019/7/12（定植後86日）



▲2019/8/23（定植後126日）



▲2019/9/24（定植後158日）



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準。」
ジャパンフラワーセレクション。